

会議名：令和4年度駿台明剣会総会

日時：令和4年7月23日（土）午後3時より午後5時

場所：明治大学和泉校舎体育講義室

出席者：若林剣道部長、大森会長、祝副会長、藤麻副会長、高田副会長、山崎副幹事長

横田常任幹事、平監事、池内常任幹事、横山監事、安江副幹事長、今野関東学生剣道連盟担当、松本監督、岡副幹事長、東村事務局補佐兼常任幹事、新美常任幹事

石井正憲先輩、大塚篤先輩、中村公彦先輩、松永義希先輩、福崎弘文先輩、水田孝信先輩、芦刈雄慈先輩、高橋宏先輩、左座清治先輩、堤忠嗣先輩

小橋賢先輩、滝沢和則先輩

議事録作成：東村事務局補佐
以上、28名

議題：第1号議案（案）. 令和3年度決算・監査報告並びに令和4年度予算の件

第2号議案. 令和3年度事業報告・令和4年度事業計画（案）の件

第3号議案. 会則（退会及び除名）第7条改定の件

第4号議案. 会則（機関）17条改定の件

第5号議案. 幹事長選出の件

大森会長より「会員資格預かり」対応について

剣道部活動状況、明剣会費納入状況について

質疑応答・意見交換

配付資料

・令和4年度駿台明剣会総会議案

- ・ 令和 3 年度駿台明剣会決算報告
- ・ 監査報告書
- ・ 令和 4 年度駿台明剣会予算案
- ・ 駿台明剣会令和 3 年度事業報告・令和 4 年度事業計画（案）
- ・ 駿台明剣会地区別名簿
- ・ 会費納入者リスト

【大森会長挨拶】

改善しなければならない課題がある。一つは会費納入について。二つめは現役学生時代から全剣連強化選手として世界大会優勝等輝かしい戦績を残し、将来を嘱望された一人の

若手先輩の事案に学生時代明治は何をしていたのか？剣道さえ強ければ良いのか？

子を持つ親として責任を感じている。学生時代苦しいことばかりではあったが、一つでも楽しいこと嬉しいことがあれば明治に愛着があるはずだ。

明治はこんな状況だから会費納入者割合は 11%程度。若い OB の会費納入が増えないのはこのような問題があるからである。

以下議題にそって総会を進めさせていただきます。

第 1 号議案（案）. 令和 3 年度決算・監査報告並びに令和 4 年度予算の件（安江副幹事長）

- ・ 資料の通り
- ・ 会費納入者 131 名 令和 4 年度会費見込（75 名増見込）
- ・ 決算報告書 支出の部内訳説明

剣道部助成金以外マイナス。予算 30 万に対し 7 万 7 千円プラスは学生への手ぬぐい支給。

通信費-郵便代

総会・幹事会費-書面総会分、会議室代

各種大会及び助成金-関東大会栄養会

支部経費（本部）-ホームページ修正費

体育会費及び他部祝金-駿台体育会費分担金

冠婚葬祭・交際費-鈴木先生、関根先輩ご逝去分

卒業生記念品代-名札（垂ネーム）

第2号議案. 令和3年度事業報告・令和4年度事業計画（案）の件（安江副幹事長）

・資料の通り

・予算案 支出の部説明

監督・助監督・助成金-前年支出がなかった分増えている。

機関紙「明剣」発行-35万円を見込んでいる。

監査報告について（平監事）

賛成多数で第1号並びに第2号議案可決

第3号議案. 会則（退会及び除名）第7条改定の件（藤麻副会長）

第7条（抜粹）

(1) 資格停止または(2)訓告の処分をすることができる。

但し、(1)資格停止は幹事会の2/3以上の決議、解除も同様決議とし、(2)訓告処分

は常任幹事会の過半数の決議によるものとする。

改定事由

・本会の性格上、現状の『除名』処分は馴染まないというのが現執行部の認識。

・共に青春時代を明治大学体育会剣道部で汗と涙を流した仲間として、社会人としてはなかなか味わえない爽やかな集団、そして会でありたいとの思い。

・資料の通り

大森会長補足説明：明治で4年間共に汗を流した仲間として除名は馴染まない。前回の除名に対して賛成はしたが、本人に反省をしてもらいその後復帰を条件にした経緯がある。

賛成多数で第3号議案可決

第4号議案．会則（機関）17条改定の件（藤麻副会長）

（機関）

- 1.総会
- 2.常任幹事会
- 3.幹事会
- 4.地区支部（北海道・東北、関東北信越、中部、関西、中四国、九州）

改定事由

- ・他の会則の文言と整合性を保つため常任理事会を常任幹事会に訂正する。
- ・会費構成比の高い関東地方の1都6県（東京、神奈川、千葉、埼玉、茨城、群馬、栃木）及び甲信越3県（山梨、長野、新潟）を

管轄する関東甲信越支部を新設し組織の活性化と会費納入率の向上を図る。

・資料の通り

大森会長補足説明：具体的方策は後日皆様から意見をいただきながら進めていきたい。

賛成多数で第4号議案可決

第5号議案. 幹事長選出の件 (藤麻副会長)

関根先輩ご逝去にあたり山崎幹事長代理を選出。

祝先輩: 関根先輩とともに実質的に業務をこなして頂いた山崎先輩が適任だと思う。

- ・資料の通り

賛成多数で第5号議案可決

【その後の質疑応答】

- ・地区支部について将来的に関東と甲信越を分けるのか。(横田先輩)

運営については今後検討していく。(大森会長)

- ・除名者について差支えなければ教えて頂きたい。(横田先輩)

北城先輩については除名解除を面談して決めたい。(大森会長)

【大森会長より「会員資格預かり」対応について報告・説明】

現在置かれている環境について認識共有してもらいたい。

駿台明剣会は体育会剣道部の発展と健全な運営を支援する団体である。

従来とは違う。監督も推薦入学も学長が決める。担当部長や監督OBが決めるものではない。過去訴訟になるケースすらあった。

監督、助監督、コーチが推薦母体である明剣会に対して何の連絡もなく退任した。これを知ったのは学生からの連絡であった。指導者陣に対し経緯を求める内容を送ったが、

1名は受取拒否。1名は真摯に回答。数名は連名で回答をしてきた。「学生に対して申し訳なかった」の一言が欲しかった。本当に卒業生なのかと思った。情けない。

それでも除名はしないと決めた。理由は先程の議題の事由の通りである。4名は会員資格を会長預かりとし、一切関わらせないこととした。

4名の会員資格預かりは明剣会会長預かりとの認識で良いか。大森会長が代わったらなしになるのではなく明剣会としての預かりか。(祝先輩)

その通り。明剣会として資格預かりである。(大森会長)

【若林剣道部長よりご挨拶】

コロナで3年ぶりの出席となりました。先程大森会長からも話がありましたが剣道部が大学預かりとなっているが、これを何とか通常の運営に戻したいと2年前より剣道部長を拝命した。

ガバナンスの問題で大学中心の仕組みを作らざるをえない。大学が責任をもって決めるフォーマットに当てはめていくものです。他の部で名称変更にも部長が〇としても大学はNOに

なるのです。

これらの経緯をご理解いただきたい。できるだけOB会の皆さんと寄り添いながら運営していきたい。何かありましたら何でもご相談いただきたい。

【松本監督より剣道部活動状況について】

令和3年度から監督を務めさせて頂いております。

その前は高橋前監督の下で助監督としてお手伝いさせていただきましたが、何も分

からない状況下で高橋前監督には非常に助けて頂きました。感謝しております。

全日本団体は出場したものの個人は一切出場できずに終わりました。前期は3月4日に集合し新入生説明会を開催（若林部長、学生幹部と話し合いを行った）

私の方針としてセレクション学生と一般学生の差を付けない。チーム組織が一体化すればチームが強くなる。実績によって席順もが決まっていたが一切撤廃した。

明治大学の剣道部として一般もセレクションもない。チーム組織がメンバーを強くする。私も稽古に加わっておりますが、まずは信頼関係だと思う。

新入生説明会、集合日を獲て監督部長会議得て関東学生で武蔵がベスト8。全日本出場は武蔵、筒井、矢崎が切符を手にした。全日本女子では筒井がベスト8。

今季8月には合宿を行う。OBの方は私に連絡を頂ければ学生と相談し参加して頂けるようにした。

全国都道府県大会次鋒の部で茨城代表武蔵が優勝しましたこともご報告いたします。

OBの合宿参加は各自実費でお願いします。（大森会長）

【山崎先輩より明剣会費納入状況について】

年会費資料から7年前から会費納入額が減少している。納入者欄には黒丸をしているがこれを増やさなければならないが、

支部の明剣会に参加してよかったな。もう一度明治の剣道を愛する気持ちを持ってもらう。普段仕事が忙しく忘れてしまっている。支部の活動を通じて戻ってきてもらう。

福崎先輩からご提案いただき各支部の名簿を作成した。関東支部が331名、中四国支部が42名、東北北海道支部が50名、九州支部が114名、関西支部38名、北信

越支部 21 名

これは澤井先輩から関東学連では関東北信越となっていることから今回関東北信越支部とした。

支部の活性化を図る＝S58 年卒橋本先輩からのアドバイスでまずは会報誌を発行して意識を高める。

支部予算の透明性を図る＝年会費納入を支部毎に出し、各支部に予算配分したい。皆様からご意見をいただきたい。

【質疑応答・意見交換】

・会費の郵便振替、銀行振込、振込手数料について納入側負担を明剣会ホームページに明記したらどうか。(福崎先輩)

・転勤者について元の住所先にするのか、転勤先にするのかを明白にしたい。会の運営に当たる事務者への予算配分を検討いただきたい。(祝先輩)

予算案作成に各支部長におこしいただいた交通費は会費として出したい。(大森会長)

・なぜ会費を払ってもらえないのか。会の運営が浸透していない、事態が正しく伝わっていないので、会報やホームページでの案内をしたらどうか。

会費の見返りが何かあっても良いのではないか。例えば会費を納めると手ぬぐいが貰える、大会のチケットが貰えるなど(横田先輩)

・学生の活動費について大学からの支援はあるのか。(横山先輩)

部費は前期・後期各 7 万円(学生) 未来サポート費 190 万円、大学の強化部 350 万円ありこの中で運用している。会計と会計補佐を付けて会計収支を報告。

学生の親にも開示している。(松本監督)

強化費サークル費は約 450 万円。会計し学生の部費については学生に戻すようにし負担を軽くしている。(若林部長)

名簿にメールアドレスを記載いただければ会費納入や会の案内などができる。各年度卒業生代表に依頼して近くの年代に声がけしていけば

会費納入に繋がるので協力していきたい。(岡先輩)

今年度は振込依頼書を業者に依頼する。時間的余裕がなかったが他の方法も検討していく。(安江先輩)

・関東甲信越支部について支部長を誰にするか、役割分担について (東村)

関東甲信越についてはこれから検討していく。(大森会長)

・各支部経費について活用されていないのではないか。(東村)

慶弔費について予算化している。人件費等として予算化してほしいと話した。(祝先輩)

予算案決算の報告が曖昧であった。これから予算案として検討していく。(大森会長)

以上